
2001年8月期 連結決算報告

2001年10月29日
株式会社光通信
 HIKARI TSUSHIN, INC.

【将来の見通しに関する記載内容についての注意】

本資料に記載されている、光通信本体及び光通信グループの計画、戦略、判断、財務的予測などのうち、歴史的事実でないものは、光通信グループの将来見通しに関する記述であります。これらは、平成2001年10月現在、光通信グループの経営陣が入手可能な情報に基づき、前提もしくは仮定を置いて判断した内容であります。そのため、重要な影響を与える当初想定し得ない変動要因によって、実際の結果とこれらの見通しとは大きく異なる可能性があります。また、営業外収支、特別損益に影響を与える有価証券・投資有価証券等の評価に関しては、世界の株式市場の動向が重大な影響を及ぼす可能性があります。そして、業績等に影響を与える要因は、記載内容に限定されるものではありません。業績及び営業成績の予想には、予期せぬ潜在リスクや不確実性が含まれております。なお、本資料は、当社株式の売買を勧誘するものではありません。投資判断に際し、これら見通しのみには依頼することをお控えくださいますようお願い致します。

Section :

2001年8月期連結決算報告

Contents

目次

Section	: 2001年8月期 決算報告	(1-8)
Section	: 2002年8月期 グループ経営方針	(9-13)
Section	: 2002年8月期 業績予想	(14-16)

連結決算概況

【P/L】

【単位：百万円】

区 分	2001年 8月期	前 年 度	前 年 比 (増減率；%)	2001年8月期の概況
売 上 高	123,075	316,624	193,549	総販売台数は106万台(前期350万台) 前期比 244万台(69.71%)
営業利益	5,515	18,268	23,783	トピック1へ
経常利益	8,110	47,629	55,739	営業外収益：94億円(投資有価証券売却益45億円) 営業外費用：230億円(持分法投資損失154億円)
税引前 当期純利益	80,300	18,654	98,954	特別利益：192億円(1) 特別損失：914億円(2)
当期純利益	56,350	5,074	61,424	税前利益： 803億円 法人税、住民税及び事業税：19億円 法人税等調整額： 247億円

トピック2へ

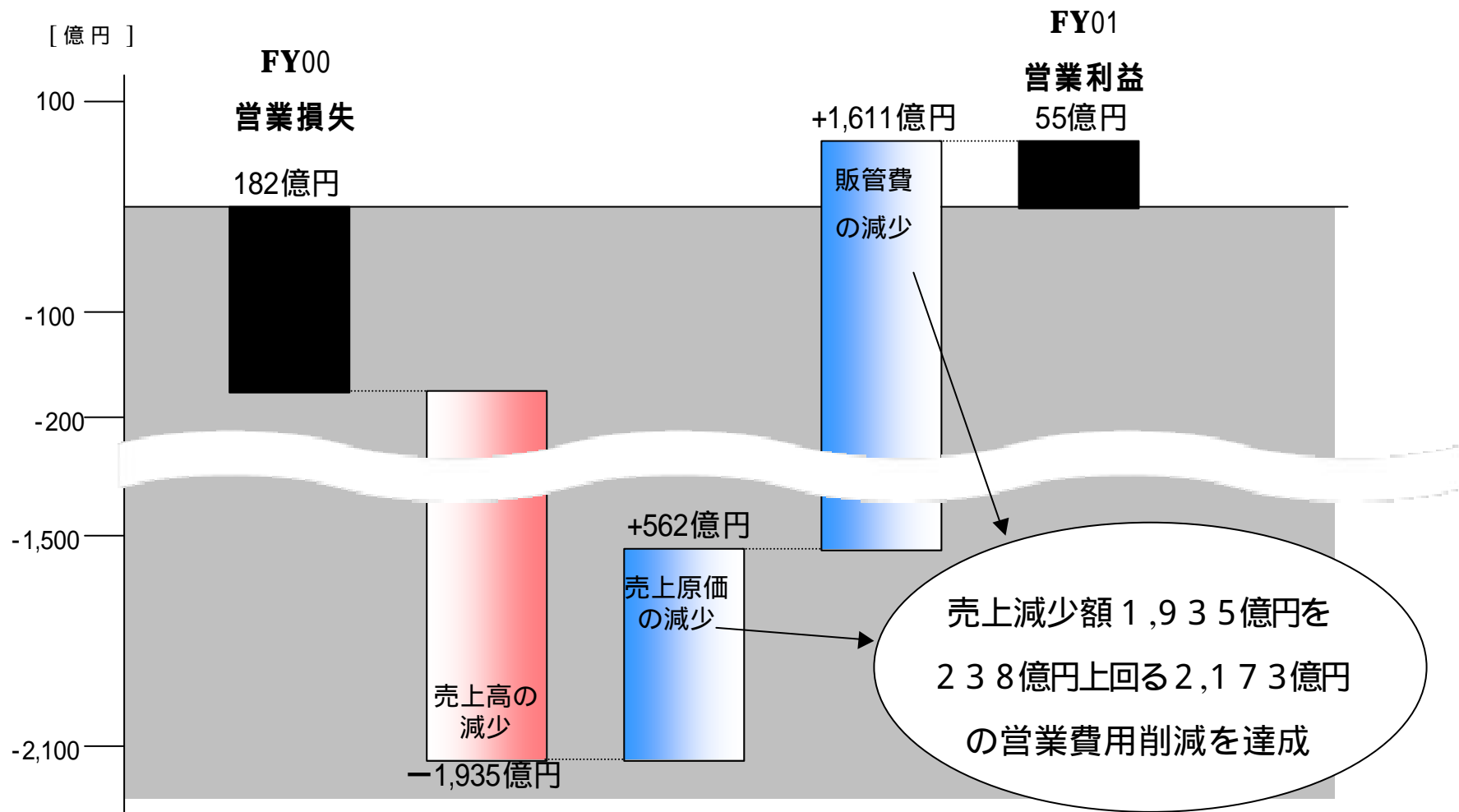
- 1 特別利益内訳：社債買入消却益53億円、投資有価証券売却益51億円)
- 2 特別損失内訳：連結調整勘定一時償却費323億円、(投資損失+貸倒)引当金繰入額合計319億円、投資有価証券評価損99億円他

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

トピック1

FY00 FY01 連結営業利益変動

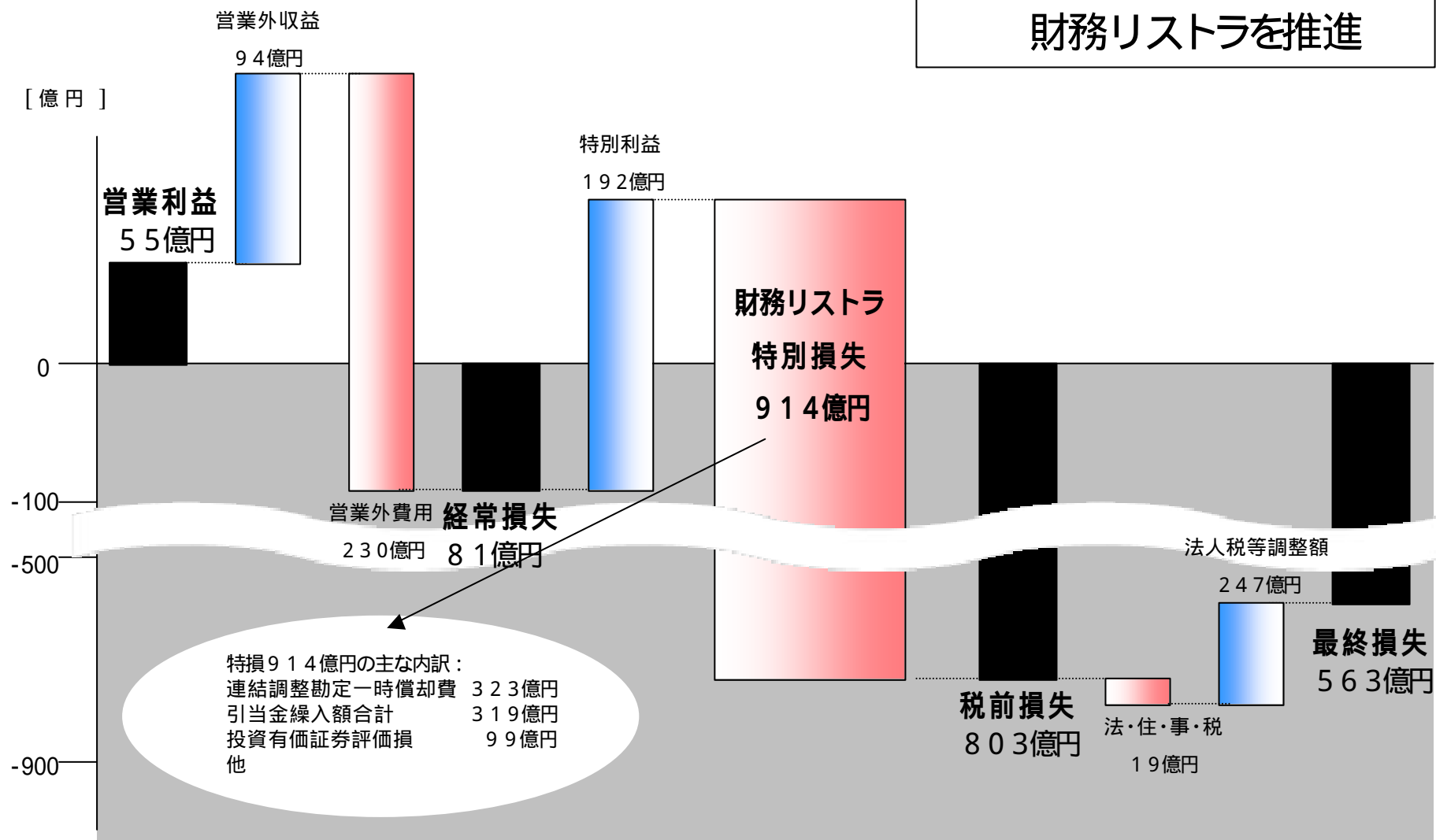
収支のバランス回復
営業黒字化



本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

トピック2 FY01 リストラ関連費用

市場の悪化に対応
財務リストラを推進



本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

連結決算概況

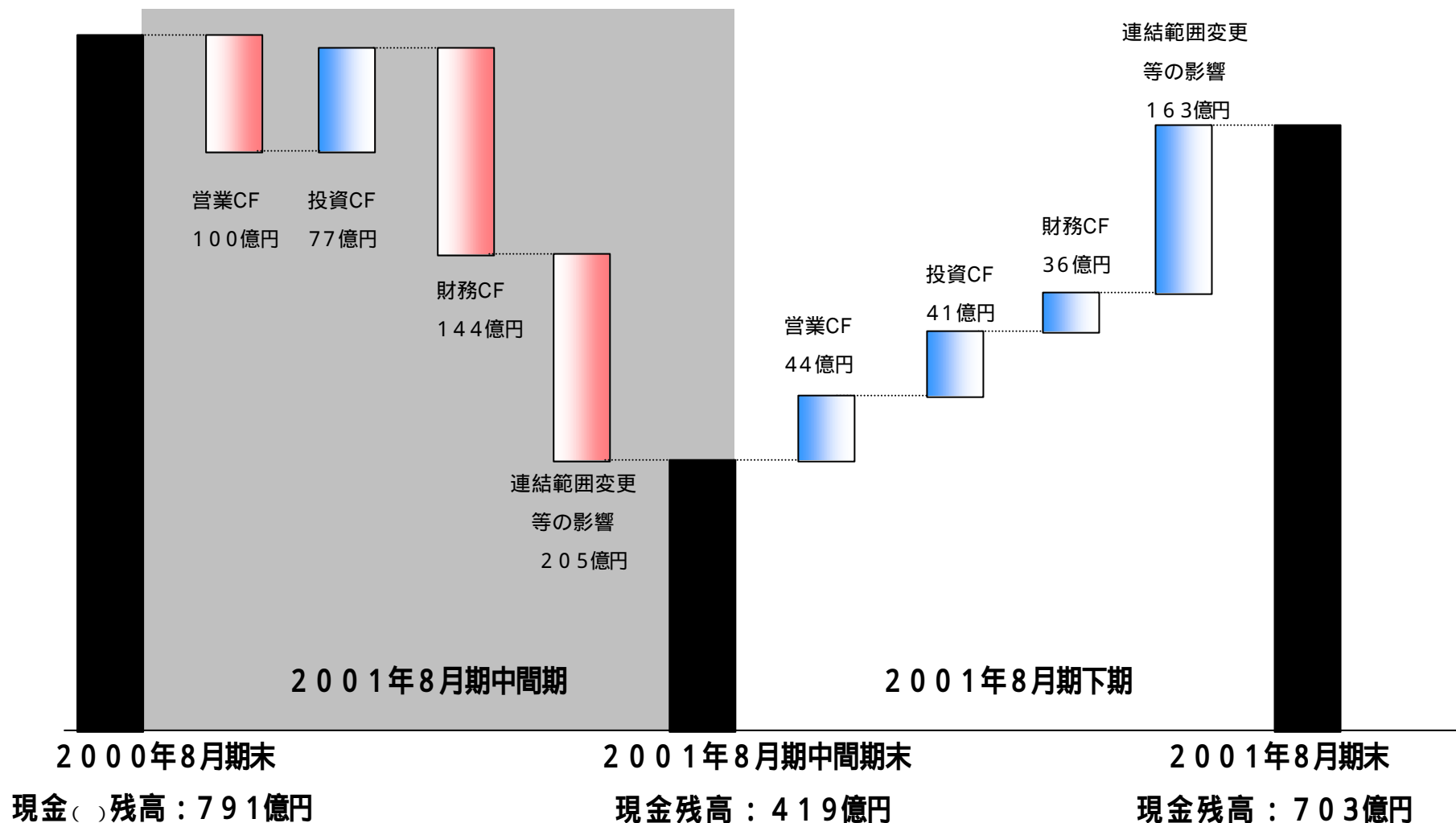
【B/S】

【単位：百万円】

区 分	2001年 8月期	前 年 度	前 年 比 (増減率；%)	2001年8月期の概況
総 資 産	219,589	299,024	79,435 (26.56%)	投資その他の資産472億円圧縮(引当増加等)
う ち 現金及び預金	71,762	67,553	4,209 (6.23%)	トピック3へ
負 債 合 計	144,915	177,195	32,280 (18.21%)	本体がユーロ円転換社債80億円起債 有利子負債は332億円減少(下段をご参照下さい。)
う ち 有利子負債	113,992	147,283	33,291 (22.60%)	本体が、社債178億円圧縮(買入消却+償還) 本体が借入156億円スケジュール通り返済
少 数 株 主 持 分	15,405	22,184	6,779 (30.55%)	持分法適用会社が資産を減少させたため縮小
資 本 合 計	59,267	99,645	40,378 (40.52%)	本体、財務リストラ実施

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

トピック3 FY01 連結キャッシュフローチャート



「現金」：決算短信記載の「現金及び現金同等物期末残高」。連結現金及び預金勘定から預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除外し、3ヶ月以内に満期の到来する債券等を加えた金額。

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

単体決算概況

【P/L】

【単位：百万円】

区 分	2001年 8月期	前年度	前年比	2001年8月期の概況
売 上 高	46,897	280,873	233,976	代理店の一次店化により、本体の販売が急減した結果
営 業 利 益	6,129	11,350	17,479	移動体事業のリストラ、管理部門のダウンサイジングで収支バランスを回復。
経 常 利 益	7,186	55,047	47,861	投資有価証券の売却によるプラス、出資金の損失負担などのマイナスで差引10億円程度のプラス。
当 期 純 利 益	38,326	6,243	44,569	投資有価証券売却益34億円、(投資損失及び貸倒)引当金533億円のマイナス

【B/S】

【単位：百万円】

区 分	2001年 8月期末	前年度	前年比	2001年8月期の概況
総 資 産	206,228	269,354	63,126	投融資を130億円圧縮 引当を498億円実施
うち現金及び預金	40,522	30,249	10,273	2001年8月期の方針として「手元流動性を高め維持」
負 債 合 計	127,232	167,814	40,582	社債178億円圧縮(買入消却+償還) 借入156億円をスケジュール通り返済
資 本 合 計	78,995	101,539	22,544	財務リストラ実施

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することはお断り致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

営業概況

【携帯電話販売台数】

(単位:千台)

	2001年8月期			前年度		
	新規	機種変更		新規	機種変更	
光通信	372	284	87	2,951	2,573	378
子会社	687	405	283	550	326	224
合計	1,059	689	369	3,501	2,899	602

千台未満切り捨て

【コミッション単価・解約率】

	2001年8月期	前年度
受付コミッション	41,586円	46,349円
ストックコミッション	337円	332円
解約率	3.5%	3.7%

解約率は、ユーザーが実際に使用しない解約と、継続使用されている状態で通信会社と弊社とのストックコミッション契約期間が満了を迎えることでカウント対象外となる疑似「解約」の総合計を分子として、保有台数で除して算出します。

【携帯電話保有台数】

(単位:千台)

	2001年8月期 期末	前年度末	前年度比
光通信	2,726	3,898	1,172
子会社	1,120	790	330
合計	3,846	4,688	842

千台未満切り捨て

【店舗数】

(単位:店)

	2001年8月期末	前年度末
専売店	414	247
併売店	522	951
合計	936	1,198

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見直し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見直しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見直しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見直しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見直し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知下さい。

Section :

グループ経営方針

株式会社光通信

代表取締役社長

重田 康光

2002年8月期の経営方針

光通信グループは、情報通信ディストリビューターを目指します。

そのために2002年8月期、3つの構造改革に取り組みます。

【3つの構造改革】

	改革の内容
1	<p>法人事業の強化</p> <p>法人向け情報通信サービス子会社群を統合し、中小法人の情報通信市場の開拓を目指します。</p>
2	<p>顧客セグメント別組織編成へ</p> <p>商品ライン毎に編成されている組織を顧客セグメント別の組織に再編します。</p>
3	<p>継続的なコスト削減</p> <p>例えば、「『紙1枚』も無駄にはしない」等、創業時点の心持ちに社員一同立ち返ります。</p>

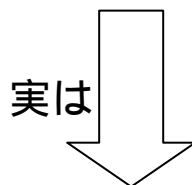
本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

改革1 : 法人事業の強化

各種情報通信サービスを統合し、法人ユーザーへのトータルサポート力の強化を目指します。

『ALL光通信グループ』全体で連携し、法人ビジネスのシナジーを追求します。

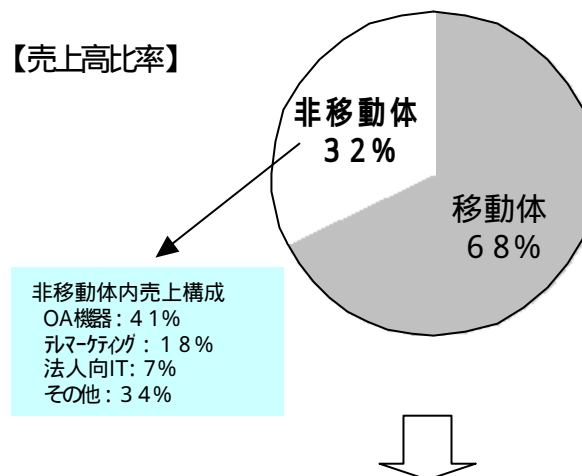
これまで、『携帯電話販売の光通信』と
自他共に認識しておりましたが...



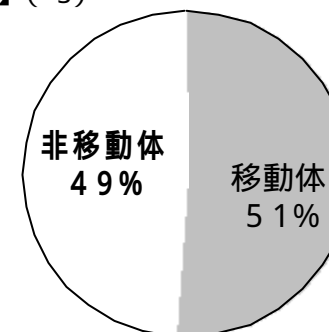
光通信グループの実質粗利⁽¹⁾の約半分は、
携帯以外の商品から。しかも法人ユーザー。⁽²⁾

- 1 販売手数料を控除した実質的な粗利益相当部分について「実質粗利」と表記しております。
- 2 「法人ユーザー」の中には、個人事業主もカウントしております。
- 3 2001年8月単月実績に基づく計算となっております。

【売上高比率】



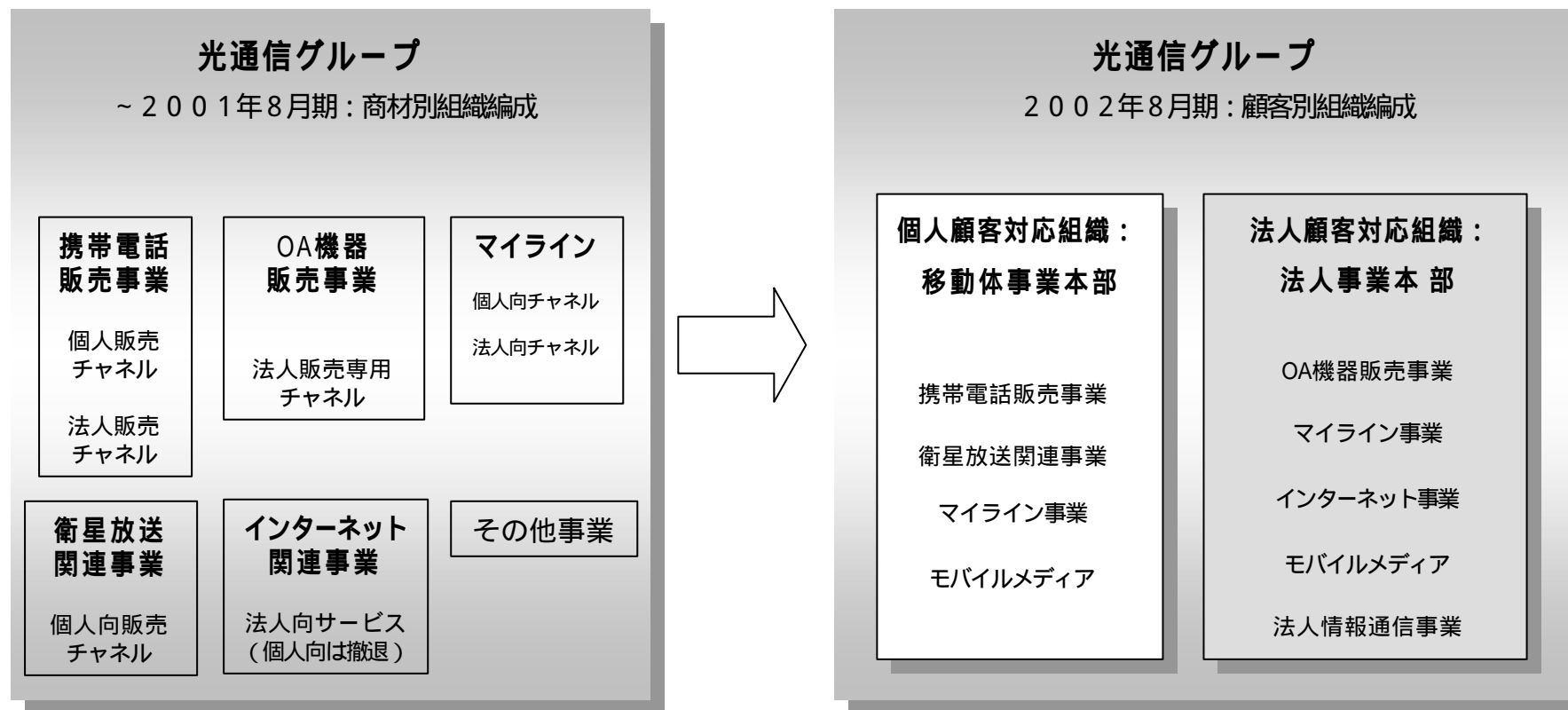
【「実質粗利」比率】⁽³⁾



本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性あることをご承知おき下さい。

改革2 : 商材別から顧客別組織編成へ

顧客第一主義を行動原則とするために
組織編成の基準を「商材別」から「顧客セグメント別」へ変更します。



本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

改革3 : コスト削減

ディストリビューターとして最も低コストな運営を目指します。

【収益性の改善】

本社機能等間接コストの縮小

代理店の1次店化により、本体自身が「間接部門」になりました。

売上高、利益の規模に見合った適正本体コストを目指します。

本体社員621名(2000年8月末実績) 213名:65%削減(2001年8月末実績)

結果、人件費約60%削減。

純販売管理費(：支払代理店手数料を除く販管費)544億円(2000年8月期) 200億円(2001年8月期)

2002年8月期も本社機能のダウンサイジング継続

【人材活用】

注力分野へのシフト

「社員総数の減少」ではなく、事業系関係会社への配置転換により、

営業 管理間のいわゆる直間比率を改善します。

若い営業社員の積極採用

当社成長の原動力

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

Section :

2002年8月期業績予想

2002年8月期連結業績の予想

(単位: 百万円)

区 分	2002年8月期通期予想	前 期 実 績	前期比 (増減率)
売 上 高	123,200	123,075	125 (0.1%増)
営 業 利 益	8,100	5,515	2,585 (46.8%増)
経 常 利 益	3,400	8,110	11,510 (-)
当 期 純 利 益	2,400	56,350	58,750 (-)

- 1 上記の各予想は、次頁の前提条件のもとで当社独自に算定しております。
- 2 単体予想及び中間予想については決算短信(添付資料)をご参照ください。

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することはお断り致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

業績予想の前提条件

【業績予想に関する諸前提】

携帯電話販売における受付コミッションは、2001年8月期実績よりも、低下する見通しであります。
 弊社は、ストックコミッションがあり、2002年8月期の販売台数増減による損益上の影響はストックコミッションのない「売切り」型一般代理店よりも軽微です。
 ストックコミッションの源泉となるユーザー数は、2001年8月期に引き続き、減少傾向で2002年8月期は推移するものと予想いたしております。
 ストックコミッション単価は280円と予想しております。
 2001年8月末時点で、936店舗ありますが、店舗網の規模はこの水準から大きく変動しないことが2002年8月期予想の前提条件となります。
 業績に影響をもたらす大幅な規模の変動が予想された場合は、速やかに情報発信をまいります。
 2002年8月期も引き続き国内の経済環境は厳しいものと想定しております。この環境が予想以上に激化もしくは好転した場合、
 2002年8月期の収益予想も大きく変動いたします。
 この他、現時点で予測が不可能な業績変動要因が多数存在します。重要な変動がある場合は、認識次第、速やかにその影響を算定し開示致します。

【店舗計画】

ディストリビューターとして最も低コストな運営を目指します。そのために、一層厳格な収益性に関する店舗モニタリングを実施します。
 このモニタリングの結果、一部店舗に関しては、競合他店舗の出現や家電量販店との競合など競争条件の激化を原因とした収益性の低下が発見されるものと予想しております。そのため、現状の店舗数(2001年8月末時点936店)はさらに減少する可能性があります。
 キャリアショップ等専売店舗の比率を増加させる可能性があります。なお、実勢に応じて出店・退店を迅速に決定・実行するため、現時点で店舗総数が増加もしくは減少する可能性はありますが、その規模についての予測はありません。
 新型人気製品の登場や新規ユーザーの急速な減少など、現時点で予測不可能な環境変化に応じて店舗数は増減いたします。

【2002年8月期：部門別売上予想等】

(単位：百万円)

区 分	売 上 高	実 質 粗 利 ¹
法人向事業	48,400	24,600
個人向事業	74,800	22,700

¹ 実質粗利とは会計上の粗利から、更に支払代理店手数料を差し引いた数値を指しております。

² 上記の売上高予想は、現時点で想定可能な諸条件について当社独自の予測を行い、それらに基づき算定しております。変動がある場合は、速やかに開示をまいります。
 また、これらの業績予想は、全て弊社株式や社債への投資勧誘を目的とはしておりません。従いまして、これら弊社予想にのみ依拠して投資判断をされませんよう申し上げます。

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみを全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。

【ご参考】光通信本体の財務状況

現金残高

単体現金及び預金残高: 405億円
(連結現金及び預金残高: 717億円)

光通信本体の有利子負債について

ピーク時⁽¹⁾: 2,205億円 1,127億円(1,078億円; 48.8%)

・社債⁽²⁾残高合計: 935億円

ピーク時1,295億円 935億円(359億円; 27.7%)

買入消却 2001年8月期実績156億円 累計:338億円消却
償還 2001年8月期実績21億円

・借入残高合計: 191億円

スケジュール通りの返済で2001年8月期156億円(: 45.0%)減少

1 ピーク: 2000年3月時点

2 本年5月発行のユーロ円転換社債を除きます。

本資料に記載されている、光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている光通信の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、光通信の経営者の判断により変更の可能性のあることをご承知おき下さい。